

## シーニック洞くつネイチャーアドベンチャーの動植物

シーニック洞くつネイチャーアドベンチャーではさまざまな動植物を観察することができます。異なる環境の中でこの土地固有の樹木と外来種が共存しています。アメリカ菩提樹とシュガーメープルの木々に囲まれて白樺の木が、樹齢 200 年のメープルの樹下にはブナ、オーク、下生えや低木が育っています。これらの樹木がさまざまな動物の住家となるだけでなく、日陰に育つ植物を直射日光から守っているのです。

ハナミズキ、チョークチェリー、ラズベリー、柳はネイチャーアドベンチャーのいたるところに育っています。春から初秋にかけて、エンレイソウや木の実、野草、ハーブが色とりどりのじゅうたんになりこの森に彩りを添えています。そして春には、この一帯に赤や白などのエンレイソウが咲き乱れます。

洞くつには、さまざまな種類の美しいシダやコケが生えています。岩と岩の間はエキゾチックなメイデンヘアシダ(Maidenhair Fern)やハートタンシダ(Hart's Tongue Fern)におおわれています。

そして、この一帯はホワイトテール鹿、キツネ、コヨーテ、ラクーン、ヤマアザラシや多くの爬虫類が安全に生息できる場所でもあるのです。赤と黒のリスが木に登りおしゃべりをし、30種類もの鳥が30m(100ft)の高さの木の枝を住家としています。

ふくろうもシーニック洞くつでよく見られる生き物のひとつです。グレートグレイ(The Great Grey)、ノーザンホーク(Northern Hawk)、ソウホウエット(Saw-Whet)、キンメフクロウ(Boreal)、そしてシロフクロウ(Snowy)などのふくろうを観察することができます。